



岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1

富士宮の活性化へ意見交換

富士宮高校会議所 東洋大・佐野ゼミと交流

富士宮高校会議所
(吉村未夢会頭)は17

日、富士宮市西町の西町レトロ館で東洋大学国際観光学部メンバーと交流会を開いた。同大学の佐野浩祥ゼミナール富士宮プロジェクトメンバー(ゼミ長・伊東竜輝)同会議所第4代会頭)5人と、富士宮市の観光の活性化などについて話し合った。

自己紹介に続き、SDGs実践「マスマス元肥(げんぴ)」による「富士宮をマスマス元気に!!プロジェクト」と、「ペビーカー」の2

R&Dリサイクル・リユース 持続可能な社会を目指す」の取り組みが紹介された。同大学メンバーから、それぞれの出身地の北海道や千葉県などの観光課題と富士宮の良いところについて発表。「富士宮は観光資源に恵まれているが、通過地になってしまっている」とし、これを滞りなく受け入れるよう「水」がおいしいから質の良い酒が醸造されているので、夜に酒を飲んで



観光の活性化に向けて話し合う学生

もらえような仕掛けが必要」などの意見が寄せられた。両団体は今後も引き続き交流していきたいという。

交流会が終了すると、富士宮市企画戦略課の服部直也主任主査が「富士山SDGs推進パートナー」について説明。連携や交流を通じて推進パートナーとして、持続可能なまちづくりやSDGsの達成に向けての提案や事業化に結びつけていきたいと、協力が依頼された。